

在宅医療でよく用いられる薬剤とその注意点：消化性潰瘍治療薬

薬樹株式会社・薬剤師 横山 寛

●消化性潰瘍治療薬

系統	主な薬（商品名）	主な副作用	備考（注意点）
H ₂ 受容体拮抗薬	シメチジン（カイロック [®] 、タガメット [®] ） ラニチジン塩酸塩（ザンタック [®] ） ファモチジン（ガスター [®] ） ニザチジン（アシノン [®] ） ラフチジン（プロテカジン [®] ）	発疹、肝機能障害、頭痛、めまい	・市販されているものもあるので、飲み合わせなどに注意。
プロトンポンプ阻害薬	オメプラゾール（オメプラゾン [®] 、オメプラール [®] ） エリメプラゾールマグネシウム水和物（ネキシウム [®] ） ランソプラゾール（タケプロン [®] ） ラベプラゾール（バリエット [®] ）	発疹、頭痛、めまい、肝機能障害	・錠剤は腸溶錠になっているため、砕いたりせずに服用する。
粘膜抵抗増強薬	スクラルファート水和物（アルサルミン [®] ） ボラブレジンク（プロマック [®] ） エグアレンナトリウム水和物（アズロキサ [®] ） アルジオキサ（アスコンプ [®] 、アラント [®] 、イサロン [®] ） エカベトナトリウム水和物（ガストローム [®] ） アルギン酸ナトリウム（アルロイドG [®] ） テプレノン（セルベックス [®] ） レバミピド（ムコスタ [®] ） イルソグラジンマレイン酸塩（ガスロンN [®] ）	発疹、かゆみ、便秘、下痢	・胃の粘膜に作用する薬として他の薬と一緒に使われることが多い。
胃腸機能調整薬	メトクロプラミド（エリーテン [®] 、プリンペラン [®] ） ドンペリドン（ナウゼリン [®] ） イトブリド（ガナトン [®] ） モサプリドクエン酸塩水和物（ガスモチン [®] ） トリメプチンマレイン酸塩（セレキノ [®] ） アコチアミド塩酸塩水和物（アコファイド [®] ）	発疹、めまい、下痢	・吐気に使われたり慢性胃炎などに使われるなど、薬により使われ方が異なる。

理学療法ジャーナル 48巻 11号 付録

在宅医療でよく用いられる薬剤とその注意点：呼吸器系に作用する薬剤、腎・泌尿器病薬

薬樹株式会社・薬剤師 横山 寛

●呼吸器系に作用する薬剤（気管支拡張薬・喘息治療薬）

系統	主な薬（商品名）	主な副作用	備考（注意点）
β ₂ -アドレナリン受容体刺激薬	サルブタモール硫酸塩（ベネトリン [®] ） ツロブテロール塩酸塩（ホクナリン [®] ） プロカテロール塩酸塩水和物（メブチン [®] ）	動悸、脈拍増加、ふるえ、発疹、かゆみ、悪心	・内服薬、吸入薬、貼付薬などさまざまな剤形がある。
キサンチン誘導体	テオフィリン（スロービット [®] 、テオドル [®] 、テオロング [®] 、ユニフィル [®] ） アミノフィリン水和物（ネオフィリン [®] ）	吐き気、動悸、ふるえ、頭痛、不眠	・服用中に禁煙をするときには医師に相談してから禁煙する。 ・服用中はコーヒーなどのカフェインを含んだ飲み物は控える。
鎮咳薬	ジメモルファンリン酸塩（アストミン [®] ） チベピジンヒベンス酸塩（アスベリン [®] ） デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物（メジコン [®] ）	発疹、眠気、口渇、悪心	・車の運転などには注意が必要。 ・チベピジンヒベンス酸塩は尿の色が赤っぽくなることもある。
去痰薬	ブロムヘキシシン塩酸塩（ビソルボン [®] ） L-カルボシステイン（ムコダイン [®] ） アンブロキシール塩酸塩（ムコソルバン [®] ） フドステイン（クリアナール [®] 、スペリア [®] ）	発疹、悪心、吐気	・痰の切れが悪いときには複数の薬を用いることがある。

●腎・泌尿器系薬

系統	主な薬（商品名）	主な副作用	備考（注意点）
神経因性膀胱治療薬	オキシブチニン塩酸塩（ポラキス [®] ） プロピベリン塩酸塩（パップフォー [®] ） フラボキサート塩酸塩（ブラダロン [®] ）	尿閉、口渇、便秘、発疹	・オキシブチニン塩酸塩、プロピベリン塩酸塩など緑内障の方は使用できない薬がある。
前立腺肥大・頻尿治療薬	クロルマジノン酢酸エステル（プロスタール [®] ） デュタステリド（アボルブ [®] ） タムスロシン塩酸塩（ハルナール [®] ） ナフトピジル（フリバス [®] ） シロドシン（ユリーフ [®] ）	発疹、かゆみ、女性化乳房	・男性が服用していると乳房が膨らんだり痛みを感じるようなことがある。

理学療法ジャーナル 48巻 11号 付録

2026/10/14 00:51:26

在宅医療でよく用いられる薬剤とその注意点：下剤、止痢・整腸薬

薬樹株式会社・薬剤師 横山 寛

●下剤

系統	主な薬（商品名）	主な副作用	備考（注意点）
塩類下剤	酸化マグネシウム 水酸化マグネシウム（ミルマグ®）	高マグネシウム血症（吐気、血圧低下等）、下痢	・長期の服用で高マグネシウム血症が起きることがある。
大腸刺激性下剤	ピコスルファートナトリウム水和物（ラクソベロン®） センナエキス合剤（アローゼン®） センノシド（プルゼニド®, センノサイド®）	腹痛、発疹	・センナエキスやセンノシドが入っている薬を服用すると尿の色が黄褐色～赤色になる場合がある。

●止痢・整腸薬

止痢薬	ロペラミド塩酸塩（ロベミン®） タンニン酸アルブミン（タンナルビン®） 天然ケイ酸アルミニウム（アドソルビン®） ベルベリン塩化物水和物（キョウベリン®, フェロベリン®）	便秘、発疹	・タンニン酸アルブミンは牛乳アレルギーの方は服用できない。 ・天然ケイ酸アルミニウムは透析を受けている方は服用できない。
過敏性腸症候群治療薬	ラモセトロン塩酸塩（イリボー®） ポリカルボフィルカルシウム（コロネル®, ポリフル®） メペンゾラート臭化物（トランコロム®）	発疹、悪心、嘔吐	・メペンゾラート臭化物など緑内障の方は使用できない薬がある。
炎症性腸疾患治療薬	サラゾスルファピリジン（サラゾピリン®） メサラジン（ペンタサ®, アサコール®）	間質性肺炎、肝機能障害、発疹、嘔吐	・潰瘍性大腸炎やクローン病などに使われる。
整腸薬	ビフィズス菌（ビオフェルミン錠®, ラックビー®） カゼイ菌（ビオラクチス®） 酪酸菌（ミヤBM®）	発疹	・湿気を避けて保存する。

理学療法ジャーナル 48巻 11号 付録

在宅医療でよく用いられる薬剤とその注意点：腎・泌尿器系薬、骨粗鬆症・骨代謝改善薬

薬樹株式会社・薬剤師 横山 寛

●腎・泌尿器系薬

系統	主な薬（商品名）	主な副作用	備考（注意点）
過活動膀胱治療薬	酒石酸トルテロジン（デトルシール®） フェンテロジンフマル酸塩（トビエス®） コハク酸ソリフェナシン（ベシケア®） イミダフェナシン（ウリトス®, ステープラ®） ミラベグロン（ベタニス®） オキシブチニン塩酸塩（ネオキシテープ®）	尿閉、口渇、便秘	・緑内障の方は使用できない薬がある。
腎結石・尿路結石治療薬	ウラジロガシエキス（ウロカルン®）	発疹、蕁麻疹、胃部不快感	・腎結石・尿路結石に使われる。

●骨粗鬆症・骨代謝改善薬

系統	主な薬（商品名）	主な副作用	備考（注意点）
活性型ビタミンD ₃ 製剤	アルファカルシドール（アルファロール®, ワンアルファ®） カルシトリオール（ロカルトロール®） エルデカルシトール（エディロール®）	高カルシウム血症（食欲不振、吐気など）、下痢、軟便、かゆみ	・日常生活でカルシウムやビタミンDのサプリメントなどを取りすぎると高カルシウム血症の副作用が現れることがある。
ビタミンK ₂ 製剤	メナテトレノン（グラケ®）	胃部不快感、悪心、発疹、かゆみ	・フルファリンK服用中の方は服用できない。
カルシウム補給剤	L-アスパラギン酸カルシウム水和物（アスパラCA®）	高カルシウム血症（食欲不振、吐気など）、軟便	・日常生活でカルシウムやビタミンDのサプリメントなどを取りすぎると高カルシウム血症の副作用が現れることがある。
ビスホスホネート製剤	アレンドロン酸ナトリウム水和物（フォサマック®, ボナロン®） リセドロン酸ナトリウム水和物（アクトネル®, ベネット®） ミノドロン酸水和物（ボノテオ®, リカルボン®）	胃痛、吐気、黄疸、顎骨壊死（口の中の痛みなど）、下痢、発疹	・服用中に歯科を受診するときには、あらかじめ医師にこれらの薬を服用していることを伝えること。 ・服用してから30分以上は横にならないようにする。
選択的エストロゲン受容体モジュレーター	ラロキシフェン塩酸塩（エビスタ®） パゼドキシフェン（ビビアント®）	ほてり、多汗、吐気、かゆみ	・服用していて下肢の痛み、むくみ、息切れ、胸の痛みなど起きようなら医師に相談する。

理学療法ジャーナル 48巻 11号 付録